

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会
令和7年度 全国教職員研修会
開催要項＜第1報＞

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会
近畿ブロック会
実行委員一同

未来を見据えた介護福祉の魅力 ～原点からの問い～

開催趣旨

今年度は、近畿ブロックが担当ブロックで、京都において開催されることになりました。全国からお越しいただいた教職員の皆様には、秋の京都を満喫していただき心のリフレッシュと共に、研修において日々の教育に活かすことができる学びが得られる大会になりますことを目指しています。

介護福祉士は、介護系唯一の名称独占の国家資格として、1987年に社会福祉士及び介護福祉士法において誕生しました。これを基に、介護福祉士は専門職の道を切り開いてきたと同時に、介護福祉士養成施設の歩みもスタートし、今年で38年になります。この間、専門性を追求してきたと共に社会状況に応じた時代の変遷に伴い、介護福祉士を取り巻く課題も大きく変化してきました。

我が国は、人口減少社会における人材不足が大きな課題となっており、海外からEPAや技能実習生を受け入れるとともに、介護福祉士養成施設においても外国人留学生を積極的に受け入れてきました。介護福祉士国家試験の在り方も変化し、今年度はパート合格制度が導入されました。さらに、大きな災害に見舞われる中で、災害時の介護に関しての知見が積み重ねられています。一方で、介護離職者を減らすために人材育成や心理的サポートにも取り組んでいる現場が増えています。そして、厚生労働省も後押ししている介護のICT化も大きく前進している状況です。

このような、介護福祉士養成施設を取り巻く状況の中で、今回の大会では、コロナの感染拡大により中断していました介護創造力コンテストを開催致します。そして、介護福祉の原点を振り返る中で、世界の動向から未来を見据えた介護福祉の魅力を考える機会になればと思っています。

日 時 令和7年10月31日（金）13：00～17：00
（受付12：30～）
11月 1日（土） 9：30～11：45
（受付 9：00～）

会 場 京都私学会館
〒600-8134 京都府京都市下京区山王町 561 TEL 075-344-6201

開催方法 ハイフレックス方式（対面＋オンライン）

参加費 会 員（事前申し込み） 参加型 9,000 円 ハイフレックス型 5,000 円
（当日申し込み） 参加型 10,000 円
非会員 参加型 11,000 円 ハイフレックス型 7,000 円

主 催 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

主 管 日本介護福祉士養成施設協会 近畿ブロック会

後 援 厚生労働省（予定）
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会（予定）
公益社団法人 全国老人保健施設協会（予定）
公益社団法人 日本介護福祉士会（予定）

研修内容

参加される皆様と介護福祉士養成の現状と課題を共有し、課題解決に向けて継続して取り組むことのできる内容とすべく、準備を進めております。皆様のご意見を頂戴できるだけでなく、教員間の親睦やネットワーク構築の一助となる貴重な機会ですので、可能な限り対面参加をご検討ください。

<研修 1 日目>

研修プログラム	
時 間	内 容
12：30～13：00	受付
13：00～13：15	開会式 主催者 挨拶（日本介護福祉士養成施設協会会長） 教育力向上委員会委員長 挨拶 実行委員長 挨拶
13：15～13：55	行政説明（厚生労働省より） 演題・講師 調整中
14：10～15：10	基調講演 講師 石黒 暢氏（大阪大学 外国語学部） 「介護福祉士の魅力とは何か～世界の動向を踏まえて～」（案） 内容 調整中
15：20～16：50	第5回介護創造力コンテスト～介護過程の展開～ コンテスト概要の説明／事例問題の説明／優勝・準優勝・留学生特別賞 の3チーム（学生）によるプレゼンテーション
16：50～17：00	諸連絡 等
19：00～	懇親会 都ホテル京都八条

<研修2日目>

時 間	内 容
9:00~9:20	受付
9:30~11:20	分科会（案） 第1分科会 介護福祉士養成の魅力を考える 第2分科会 介護事業所との連携とは 第3分科会 介護福祉士養成の今後の展開とは何か ※プログラム内容、開催形式、講師等は調整中
11:30~11:45	閉会式 閉会挨拶 次期開催ブロック 挨拶

【開催地 京都府のご案内】



1. 歴史と伝統文化の宝庫

- ・京都は794年から1000年以上にわたって日本の首都であり、歴史的建造物や文化遺産が豊富。
- ・清水寺、金閣寺、銀閣寺、伏見稲荷大社など、世界遺産や重要文化財が多数。
- ・伝統工芸（西陣織、京焼・清水焼など）も盛ん。



2. 和の風情を感じる街並み

- ・祇園や嵐山など、江戸時代やそれ以前の町家が残るエリアでは、着物姿での散策が人気。
- ・石畳の小路や町家カフェなど、写真映えするスポットが多い。



3. 四季折々の美しさ

- ・春の桜（哲学の道、円山公園）、秋の紅葉（東福寺、永観堂）、冬の雪景色、夏の祇園祭など、季節ごとに異なる表情を楽しめる。



4. 食文化の豊かさ

- ・京料理（懐石、湯豆腐、おばんざいなど）は繊細で季節感に富む。
- ・抹茶や和菓子も有名（宇治や嵐山が特に人気）。
- ・伝統と現代が融合したカフェやレストランも多数。



5. 精神文化と静寂

- ・禅寺や茶道、華道など、日本の精神文化を深く体験できる場所。
- ・瞑想体験や坐禅体験も可能。



6. アクセスと観光のしやすさ

- ・市バスや地下鉄が整備されており、主要観光地を効率よく巡れる。
- ・観光客向けのサービスや情報も充実。



京都府公式観光サイト